

問 公共施設の再編は停滞しているよう感じるが、推



旧横山学童保育所に旧横山事務所の機能を一部移転したデジタルフロントスポット長屋

一般質問

11月28日から4日間にわたり27人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

なお、議員ごとの質問の模様は、市議会ホームページで録画配信をご覧ください。



公共施設再編の

取り組みは

公共施設管理

では、改修や更新の際、多機能化や複合化による施設整備を必須の検討事項としている。今後は、従来の組織の枠を超えて柔軟に検討できるよう体制を強化するほか、9年度からの後期経営計画において、前期計画の効果検証を踏まえ、さらなる行財政改革の

問 受益者負担の適正化を
将来世代に負担を残さない
ために大変重要と考える。近
年の物価高などにより、利用
料金の算定基礎となる原価と
現行料金に差異が生じている
公共施設が見受けられるが、

行財政改革

答 現状では、全体的に受益者負担より公費負担の割合が大きくなっている。限られた経営資源の効果・効率的な活用は不可欠であり、将来世代に負担を先送りしないためにも、機を逸することなく適正化を進めていく。

問 公平な受益者負担は、未
来の財政を守るために欠か
せない。今後も物価上昇が続
く可能性があり、現行料金と
適正価格のかい離を是正しな

少子高齢化・人口減少が進む中、公共施設の再編にはしっかりと取り組まなければならぬと考える。これまでの市の取り組みの成果について聞きたい。

答 進するための取り組みは、現在、南大沢・北野駅周辺・八王子駅周辺の3つのエリアにおいて、サービスや機能、施設のあり方など、共通する課題の解消を図るために、全局的な体制で検討を進めていく。また、公共施設等総合管理計画を改定し、再編をより強力に推進できる仕組みへ見直すことを予定している。

答　問　公共施設の老朽化に伴い、今後、学校を中心とした建物等が本格化すると考えられる。報道等によると建設コストが上昇し、全国的に入札不調により事業が停滞している状況があり、市の財政にも大きな影響があるため、今後どのように取り組むのか。

答 めていくのか。
7年度は行政コストの適正性を確認するため、各事業をゼロベースで見直す総点検を実施し、改定に向けた準備を整えた。原価と現行料金の差が2割を超えるいる使用料が約85%あり、今後速やかに適正化に向けた料金改定を実施する必要があると考えている。行政サービスを利用する人との負担の公平性確保に努めていく。



取り組みを進めていく。

今後の見直しをどのように進めていくのか。